

東京

「其の日」暮らし



そしてドイツです。

シュトゥットガルトのビュスナウ村 (Busnau) という所にあるゲストハウスで暮らし始めました。こちらはサマータイムに入り、日本との時差は7時間なのですが、なんと夜の8時前になってようやく日が暮れてくるのです。そのせいかまだ明るいからと油断しているとあっといふ間に夕食の時間になっていてあわてて準備することになります。ドイツは森が多い国と聞いていましたが、特にこの場所は村はずれなので、周りは森と草原と道路です。村の中心部はスーパーと文房具店、バーとバスターミナルがあるだけの、本当のんびりした村です。スーパーまでは森の中の舗装がされていない普通の山道？ けもの道？ を歩いて行きます。その途中でリス(ピーターラビット)に出てくる様な焦げ茶で耳がとがって耳の先にふさふさの毛がついている) や野ねずみ、鴨(首の周りが緑と白の) と出会うことがあります。ベビーカーをガタガタさせながら歩いているのに逃げることなく普通に目が合ったのです。なぜか私の方がドキドキしてしまいました。

日本にいるときは、食事のことを気にしていましたが、お米も日本米に近い物(胚芽米ですが)が手にはいるし、パンもハムもとても美味しい！春から夏にかけての時期なので野菜も豊富にあります。塩も海水から作った物を見つけたことが出来ました。ところが、一つだけ見て分からないものがありました。それは胡椒です。お肉を食べようということになり、必要になったのが胡椒。粒胡椒は見分かりましたが、胡椒挽きが見あたらなかったので、粉にした物を探していました。粒胡椒をみて文字を確認し、その文字を探してのですが見あたらなない。ステーキ&??と書いているのを見てステーキに使うスパイスと思い買いました。いざ使うときになって、蓋を開けると・・・
・カレーの匂い。「ステーキに使うのに、カレー？なんでや？」辞書を引いてみると、ステーキとグリンのスパイスと書いています。内容を見ると塩、胡椒、ハーブ類こまでは予定通り。のはずが下の方にはカレーと書いているのです！！何度見直してもカレーはカレー。匂いもカレー。私が食べたかったのは普通の肉なのに！悔しいので今度カレーを作るときに使おうと思いい戸棚に直したのでした。

私は最近アパートを探し始めました。ドイツ語は



全く出来ません。英語は細かい意味は分かりませんが気合いと雰囲気意思疎通するサバ
イバル英語です。ドイツ語の出来るゲストハウスの住人を捕まえてドイツ語で何と言っか
を教えてもらい、ゲストハウスの掃除のおばちゃんに通じるか練習した後で、その紙を持
つて不動産屋のブザーを押す。そしてカタカナの発音で来意を伝えると、鍵を開けてくれ
る。まるでゲームをしている気分です。最初は準備不足で鍵さえ開けてもらえず暗くなり
かけたこともありましたが・・・日本にいる仲間達にも助けてもらって、メールを送って
アポイントをとる準備までなんとか進みました。周りの人を巻き込みながらのアパート探
し、もう少し続きます。

掲載の記事・写真・イラスト等の全てのコンテンツ無断複写、転載を禁じます。

(株) ファッションビジネス・御堂筋新聞